

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	歴史	担当教員	山本浩樹			
学年学科	1 年 A 学科	通年	必修	2 単位		
学習・教育目標	(A - 1) 1 0 0 %					
授業の目標と期待される効果： 1 年生の歴史は世界史的分野の内容を学習する。授業では、とくに 1 5 世紀以降の近・現代史に焦点を合わせて考察を進める。いわゆる各国史の総合ではなく、さまざまな結びつきからなる世界史像をめざす。くわえて、日本や日本人と世界とのつながりも意識する。具体的な目標は以下の通り。 世界史的知識を広げる。 歴史的内容を論理的に考察し、説明する力を養う。 異文化や多様な価値観への理解・関心を深める。 「現在」に対する複眼的な見方を養う。		成績評価の方法： 以下の総得点 5 0 0 点に占める得点率で最終評価を行なう。 前期：中間試験 1 0 0 点 + 期末試験 1 0 0 点 + 課題提出 5 0 点 後期：中間試験 1 0 0 点 + 期末試験 1 0 0 点 + 課題提出 5 0 点 達成度評価の基準： 以下の各要素についての達成度を成績評価の基準とする。 世界史についての正しい知識を習得したか。 歴史的内容を論理的に考察し、説明する力がついたか。 異文化や多様な価値観への理解・関心が深まったか。 「現在」に対する複眼的な見方がついたか。				
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書・図説（資料集）を使用した講義形式で実施する。はじめて聞く人名や地名が多いが、集中して授業に取り組むこと。質問は授業中・授業後随時受け付ける。図説などによく目を通して、対象となる時代や地域に関心を深めておくとよい。						
教科書および参考書： 『詳説世界史』（山川出版社）を教科書とし、『最新世界史図表タペストリー』（帝国書院）を副教材として使用する。その他、必要に応じてプリント等を配布する。						
授業の概要と予定：前期						
第 1 回：イントロダクション						
第 2 回：イスラーム世界						
第 3 回：中世ヨーロッパ世界						
第 4 回：十字軍の時代						
第 5 回：英仏百年戦争						
第 6 回：レコンキスタの進展とオスマン帝国の隆盛						
第 7 回：大航海時代 1 南北アメリカの征服ルネサンス						
第 8 回：大航海時代 2 ポルトガルとアジア交易						
第 9 回：中間試験						
第 1 0 回：ルネサンス						
第 1 1 回：宗教改革と宗教戦争						
第 1 2 回：ヨーロッパ主権国家の形成 1						
第 1 3 回：ヨーロッパ主権国家の形成 2						
第 1 4 回：イギリス革命						
第 1 5 回：イギリスの植民地支配						
期末試験						
第 1 6 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）						

授業の概要と予定：後期
第17回：産業革命
第18回：アメリカ独立革命
第19回：フランス革命
第20回：ナポレオンの時代
第21回：19世紀後半のヨーロッパ
第22回：アメリカ合衆国の発展
第23回：西欧列強のアジア進出1 インド・東南アジア
第24回：西欧列強のアジア進出2 東アジア
第25回：中間試験
第26回：帝国主義の時代
第27回：第一次世界大戦
第28回：社会主義革命とヴェルサイユ体制
第29回：戦間期のアジア
第30回：世界恐慌とファシズムの台頭
第31回：第二次世界大戦
期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）